

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告

日本学校名 [ 目黒区立大岡山小学校 ] 担当教諭名 [ 小林 真由美 ] ( 6年2組 34名 )

交流相手国 [ サモア ]

海外学校名 [ Falefitu Primary School ] 担当教諭名 [ Irwin. P. Matagi / 梅田 力(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	伝えよう わたしたちの 日本文化を	20
	総合的な学習の時間	世界の国と交流しよう	25

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	伝統文化
絵に込めたメッセージ	日本の伝統文化とサモアの伝統文化を絵で伝え合い、木やリボン、国独自の模様など共通点で両国をつなげたい。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
自国の文化を外国へ伝えるという目的意識をもって追究したことで、より理解が深まった。また、サモアについても興味をもって調べ、いろいろな文化を知ることができた。そして、お互いの違いや共通点を「つながり」を意識してレイアウトを考え、出来上がった作品から外国とのつながりを実感することができた。	レイアウトを考える際にお互いに表現したいものがあり、折衷案を見出していくのが難しかった。 校内展覧会で展示した都合上、サモアに作品を送るのが遅くなってしまった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
校内展覧会で日本側の完成版を展示 卒業式に向けて両国完成版を体育館に展示	外国との交流は今年度が初めての取り組みだったが、「絵で文化を伝えたり交流したりできるのはおもしろい」「サモアとのつながっている様子が伝わる」など、良い感想をいただくことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月	サモアについてイメージを話し合ったり、地図で位置を確認したり、インターネットで概要を調べた。 「Talofa」のあいさつとともにフォーラムで自己紹介	サモアについてはまったく知らなかったが、自己紹介をお互いにして、距離が縮まるのを感じると、興味が一気に高まり意欲的に取り組もうとしていた。	総合
情報収集	7月 9月 10月	日本の伝統文化について一人ひとりテーマを決めて調べ、パンフレットにまとめてサモアに紹介。 また、サモアについても調べた。	「日本の伝統文化を伝えたい」とそれぞれがテーマを決めて楽しんで調べ学習をしていた。また、サモアについて調べ、共通点や違いをたくさん見つけて理解を深めた。	総合
テーマ検討	11月	フォーラムを活用 日本側から構図の提案をし、サモアからもアイデアをいただいた。 それらを含めて再度提案し、決定	まずはグループごとに構図を決め、よいところを取り入れて1つの案にまとめた。「サモアの小学生は木や模様を描くのが得意」と聞くと、それらを取り入れてつなげようと話し合っていた。	総合
制作	11月	グループごとに担当を決めて制作	下がきと色塗りとを自分たちで分担しながらどんどん進めていた。丁寧に色を塗ることを心がけていた。また、全員で作品を仕上げたことで達成感を味わっていた。	総合
鑑賞	3月	共同制作した絵の鑑賞	「お～！」「すごーい！」と歓声が上がった。「絵でつながっている！」「仲良くなった気がする」と大喜びだった。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	サモアの小学生に伝えるという目的意識があったので、とても意欲的に調べ、改めて自国の伝統文化の良さに気付いた。
異文化の理解	B	5	交流の相手国はどんな国なのか、どんな生活をしているのか、どんな文化があるのか興味をもって調べ、理解を深めた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	子どもからの英語を活用しての発信がほとんどなかったのもっと英語を活用して外国とのつながりを感じさせてもよかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	インターネットを活用して情報収集をした。より正確な情報を得られるように情報元にも留意した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	交流先の小学生の自己紹介写真を見て、親近感をもっていた。日本についての授業をしている様子を見て嬉しそうにしていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	良い作品に仕上げようと自分たちで分担・協力しながら制作を進めていた。
学習を追究する意欲	A	5	最後まで交流に対して意欲をもって取り組んでいた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	調べたことを伝えようと、友達の意志や相手国の意志を尊重して構図を決め、完成させることができた。
作品を鑑賞する力	B	4	サモアの文化を絵から感じ取っていた。また、絵から両国のつながりを感じ、より身近な国として親近感がさらに高まっていた。